2021年度 ヤハギ緑化の「SDGs」の取り組みについて

ヤハギ緑化では、経済と環境が両立できる社会の構築を目指し、25 の課題を設定して取り組んでいます。2021 年度の SDGs 活動の結果をご紹介します。

緑 域 の 創 造

緑域の創造を通して、豊かな社会づくりに貢献する

〔最適な緑域の企画・設計、人にやさしい緑空間のデザイン〕

〇外構修景工事で働く人の憩いの場として、植物管理・葉の採取を通しコミュニティーの場として利用していただける、ユニバ―サルデザインを目指した設計を具現化し提供することができた。

〇空港利用者が最も目にする箇所の一つ和ガーデンやサウスガーデンに地域に馴染みの深いシバサクラを採用し整備を行った。

〔環境負荷の少ない施工〕

〇使用する重機（バックホウ）は特定特殊自動車排出ガス基準適合車とした上、作業内容に適合した規格（大きさ）の重機を選定。現場では、アイドリングストップ機能を装備した低燃費、低排出ガス、超低騒音型の重機を採用。低燃費、低排出ガス、超低騒音型を使用し、地球温暖化や資源枯渇への影響低減に努め、環境配慮を考慮して現場を進めた。

〇草刈機各種（刈払機・トリマー・チェーンソー）のバッテリーモデルの試験施工実施。機械の重量・パワー、バッテリーの取り扱い等様々な問題が浮かび上がり今後の課題となった。

〇揺動（バリカン）式刈払い機の使用。飛石事故を未然に防止し、周囲の構造物を傷つけないよう作業した。課題はチップソーより効率が 2～3 割下がる為通常の除草作業に支障はないが、灌木の切断はできない事が解った。今後も検証していく。

〇バッテリ―式ブロワーを実験的に使用し排ガスを出さず、オイル漏れや燃料漏れがない作業を実施した。課題としてバッテリーの持ちが短く、風圧はエンジン式よりやや劣るが、通常作業が可能だった。 発生音はエンジンより高い音で、大きさは同程度なので引き続き検証していきたい。

〇省エネ型ＢＨ（0.25　0.15　0.1）、タイヤローラー、省エネ型４ｔユニック車等を使用。

〇車線規制時に使用する電光規制板を、従来のエンジン式発電機からソーラー式ＬＥＤ規制電光板に変更。Co_2の排出削減、騒音の低減を実現。また、一般車両からの認識性もよく、事故なく施工できた。

〇国営公園修繕工事の現場事務所としてソーラーシステムハウスを設置。太陽光の自然エネルギーで CO2 が発生せず、環境にやさしいエコロジ―なハウスで商用電源や電気工事が不要なので安全・安心・迅速に設置することができた。

〔植栽後の枯損防止〕

〇夏期の植栽工事では、元請者と協議して樹木材料の搬入を早朝とし、蒸散用製剤の散布を施し、枯木防止に努めた。

〇樹木の枯損防止の蒸散防止剤（グリンナー）散布を実施。仮設のドリップチューブの使用。芝の寒冷紗養生を実施。

〔地域活動に参加〕

〇作業現場周辺道路の定期的清掃。作業終了時、ゴミ収集、ブロワーによる清掃を実施。
〇道路工事管轄内および名古屋国道事務所が主催するボランティア活動への積極的に参加を目指し、情報収集を含め活動している。
〇滑走路における、ゴム除去後の廃ゴムの再活用として、廃ゴムを受験生へのスベリ止めのお守りとして有効活用し支給。（発注者との協業）
〇仮設フェンス内の現場をはじめ、公園内全体、付近の道路の清掃を毎週実施し、愛護会の方との良好な関係を構築。藤前干潟クリーン大作戦に参加。
○年 2 回、近隣地の草刈り活動参加。（東筑波）

〔廃棄物の削減〕

〇事務所内で可燃・不燃のゴミ、ペットボトル（蓋を取る）、缶と仕分けし指定の収集所に搬送した。
〇剪定枝等の適正処理の実施。刈枝はリサイクル施設に搬入し、パルプ材等の再利用化を促進。
〇工事で排出される刈草および枝葉木を、リサイクル処理場に持込み、堆肥化した。
〇空港滑走路周辺の刈草肥料化実施へ向けて考察し、刈草を処分。総数 250ｔ中 213ｔを乳牛への飼料として出荷した。
〇現場では地下廃棄物が計画より多くなる事があり、常に廃棄物の分別を細かく行っている。適正に処分し、極力撤去物の削減を提案した。

緑 域 の 維 持

緑地を適切に維持管理し、快適な空間を提供する

〔住居施設の緑地管理〕

〇設計時植物の特性に適合した、配置計画、植栽を実施するとともに、現地環境に対応した樹種選定を実施した。

〔公共道路の植栽管理〕

〇空港での月２回の巡視によるターミナル線、案内看板の視認性悪化による、高木剪定・地被刈込の提案。看板や縁石の視認性に障害が出る場合は巡視報告書にて提出し、発注者の指示を得て除去作業を実施。
〇街路樹維持管理工事にて道路管理者と協議の上、民地から樹木の枝が大きく張り出した箇所など、植栽の異常箇所の剪定を実施した。また、8 月の大雨で民地の樹木が倒れ歩道を塞いだため、高木、中木の伐採、除去を実施し未然に事故防止を実施。
〇道路管理者と協議の上、交通事故が多発する交差点やその他通学路となる歩道橋昇降部で視距確保のため、植栽低木の樹高を地際より 75ｃｍ以下で管理する取組みを実施。歩行者目線での道路上の安全確保に努め、視距不良部の改善を行った。今後は施工範囲内、全てで対応できるよう引き続き計画していく。

〔環境重視のゴルフ場管理〕
〇全てのゴルフ場で健全な芝の育成、樹木の適切な剪定の実施を行った。池やクリークは清潔に維持できるよう池浄化２箇所、周辺清掃を５現場実施し、周囲の環境改善を目指した。

〔農薬の適切な管理〕
〇ゴルフ場コース管理での農薬の数量、成分の削減を昨年比２％と設定したが夏場の長雨が大きく影響し全体平均で８％増となった。２％以上削減出来た作業所は４作業所となり、毎年の気候変動に対応する必要がある為、管理方法を都度見直しながら引き続き実施していく。

〔剪定枝のリサイクル〕
〇発生した剪定枝や刈草は指定の収集所に搬出し、その後のリサイクルのためにゴミなどの異物を取り除いた。作業前にもペットボトルなどの異物を排除し搬出した。
〇伐採撤去した残材・剪定により発生した枝葉や木くずは、リサイクル処分場に持ち込み、チップ化され製紙の原材料として再生されている。
〇２つのゴルフ場で剪定木をチップ化し再資源化を行った。チッパーの使用及びスタンプグラインダーを用いて発生した木くずを樹木周りに敷設した。

技　術　の　開　発

パートナーと協働し、新たな緑化技術の開発に取り組む

〔室内緑化をデータにより管理〕
〇本社１F 壁面緑化のモニタリング。植生状況や施肥・水遣りの量を測定し分析を実施中。

〔新しい管理技術の研究、導入〕
〇路面清掃車の自動化運転への実施。(発注者との共同考案) 2021 年度末　条件付き自動運転（有人）の実証実験のため、路面清掃車（１号・２号車）への装備取付け完了。2020 年度内に実証実験開始。
〇ゴルフ場の大型自動芝刈機の説明会３回参加（キーパー会）筑波作業所にてロボット芝刈り機導入。

〔e-TURF データ管理を試験導入〕
〇３つのゴルフコースで芝生管理システムを導入し、定期的（１回/月）に改善点・追加事項を検証している。

〔ドローンでデータ収集〕
〇ドローンを使用して芝の生育状況の可視化検証実施。(今期は撮影のみ)

働　く　「人」

生きがいと働きがいのある職場を創る

〔資格取得の推進〕

〇１級造園施工管理技士新規取得 2 名。
〇２級造園施工管理技士補新規取得 1 名。
〇２級芝草管理技術者取得 3 名。
〇第 1 種衛生管理者取得 2 名。
〇樹木医資格の取得推進の為、関連図書の推奨・関連外部講習の受講。
〇２級造園施工管理技士取得推進の為、勉強会開催。

〔能力向上機会の提供〕

〇CPDS 認定講習を受講し、20 ユニット以上を取得した。
〇フルハーネス特別教育、社内研修「三年次研修」の受講。順調に進行中。
〇外部講習会実施（コンプライアンス遵守等）　キーパー１回、サブキーパー１回

〔現場技術の継承、発展〕

〇緑栄会加入協力会社と現場技術や情報を共有し、住宅施設にて地下式支柱の施工を実施。
〇協力業者を含め、刈払機取扱者およびチェーンソー伐木業務などの特別教育の実施。チェーンソー伐木業務の特別教育を年度始めに実施。受講者 16 名。
〇制限区域内における運転資格を取得。標準パス取得者 5 名、車両運転資格者 3 名。

〔70 歳以上にも活躍の場〕

〇70 歳以上の実務経験者を 2 名採用。
〇ゴルフ場コース管理者高齢者雇用比率全体の 20%維持を目指した。結果 19.8%とほぼ達成した。

〔安全第一に事業活動〕

〇毎月 1 回の労働災害防止協議会、日々の朝礼、KYK 活動、安全ポスター掲示による啓発活動を実施し安全意識を高め事故・災害ゼロを目指した。年間を通して労働災害 2 件（前年 3 件）、物損事故 5 件（前年 7 件）、交通事故 1 件（前年 1 件）となった。前年比 73%と減少させる事ができた。引き続き目標である事故・災害ゼロを目指す。
〇緑化工事作業所にて毎日の健康管理、他の現場情報の共有に努めた。暑い時期の施工では、熱中症予防（1 時間毎以内の休憩、こまめな水分補給）を実施し熱中症発生ゼロとなった。（前年 1 件）
〇街路樹維持工事にて作業手順書、ハザードマップ等を活用し、作業員全員の安全意識を向上させた。

〔健康福祉の向上〕
〇すべての従業員が健康診断を 100%受診した。
〇コロナ禍における検温・アルコール消毒の実施。
〇熱中症対策による塩タブレットの支給。

〔コンプライアンスの遵守〕
〇コンプライアンス違反が無いか常に確認を実施。
〇各種法令理解、順守し、社内でのコンプライアンス検査で指摘された事項を確実に是正。コンプライアンス検査指摘事項を熟読し、業務遂行中。
〇反社会的勢力と関係する業者は使わないよう事前に誓約書の提出を実施。